

第 2 1 回政策推進会議報告

日 時 2月12日 9時30分～11時18分

場 所 4 - 1 会議室

出席者 19人

1 次期尼崎市議会定例会市長提出予定案件について

企画財政局長から資料に基づき説明。

- ・質疑なし

2 平成25年度当初予算の概要について

企画財政局長から資料に基づき説明。(以下、質疑等)

- ・国の補正予算の影響はどんなものか。

学校耐震化事業や道路整備事業等に係る国庫補助内示の増に伴う増額補正を予定しているが、この補正に伴う地方負担の増に対しては、元気臨時交付金が交付されることになっている。この交付金は算定上平均で地方負担分の8割が交付されることになっているが、本市は財政力指数が高いため、7割になる予定である。具体的な金額で言うと、学校耐震化事業を除き4億円程度になる見込である。

- ・現在の執行体制に影響はでないか。

大きな影響はないものと考えている。

(市長) 今回の国の補正予算が本市の収支見通しにどう影響するのか。

今回の国の補正予算により学校耐震化事業について国庫補助以外に緊急防災・減債事業債が充当できるようになり、この債務は償還時に一部が地方交付税の基準財政需要額に参入されるため、収支が改善されることになる。昨年11月時点の素案と比較すると生活保護費が抑制傾向にあることとあわせ今後10年の累計で160億円は改善する見込である。

(市長) 今後、三位一体改革のときのような地方交付税の大幅な削減がされることも考えられる。いずれにせよ、今から予算議会が始まるので、議会にきちんと説明できるように準備してもらいたい。

3 平成25年度主要取組項目(案)等について

企画財政局長から資料に基づき説明。

- ・質疑なし

4 市営バス事業の民営化に向けた取組方針(案)等について

企画財政局長から資料に基づき説明。

- ・質疑なし

5 尼崎市提案型事業委託制度(案)等について

市民協働局長から資料に基づき説明。(以下、質疑等)

(市長) 職員向けの説明会でも話したが、この制度は市役所の意識改革を迫るものである。提案されたもの全てが委託できないかもしれないが、新たな視点となる意見はもらえるものと考えており、市役所内のレベルアップが期待されるので、各局とも協力をお願いする。

6 尼崎市国民健康保険特定健康診査等第2期実施計画（案）等について

市民協働局長から資料に基づき説明。（以下、質疑等）

（市長）計画期間はどうか。

5年間である。

（市長）先に説明した主要項目にも記載しているが、後期高齢者や生活保護受給者に対する健診等、本市独自の取組みも含まれており、医師会とも連携して取り組んでもらいたい。

7 企業立地促進法に基づく「兵庫県尼崎市の基本計画（第2次）」（素案）に対する市民意見公募手続の実施について

経済環境局長から資料に基づき説明。（以下、質疑等）

（市長）国の施策を活用できるものもあると思うので、条例の見直しも含めて実施してもらいたい。

8 その他

・総務局長から、尼崎市防災会議における「女性部会」からの提言に関して報告。（以下、質疑等）

（市長）会議では避難所運営について時間を割いて検討していただいた。この提言に記載されていることは、避難所運営マニュアルに記載することで担保されるのではないかと考えている。視点としては、妊婦や小さい子どもがいる家庭に対する脆弱性が指摘されており、これは災害時要援護者への対応に通じるものがある。平素から男女共同参画が実現していなければ、有事のときにできるはずがなく、普段の取組みが大切であるので、全部局に関連することであり、十分に活用してもらいたい。

・総務局長から、ヤフー株式会社との「災害に係る情報発信等に関する協定」の締結（予定）に関して報告。

・経済環境局長から、尼崎市家庭ごみべんりちょうに関して報告。

・経済環境局長から、大気中のPM2.5の観測状況に関して報告。（以下、質疑等）

（市長）保健所における市民からの問い合わせはどうか。

・現在のところ問い合わせはないが、市民もきっと心配していると思うので、県の動向を見ながら対応する。

・経済環境局長から、大阪市における震災がれき焼却の本格実施に関して報告。

以 上